

はじめに

本市の都市計画道路は、昭和2年11月にはじめて32路線、延長45.4kmを都市計画決定しました。その後、昭和21年に戦災復興事業により大幅な再編成を行い、さらに都市発展に応じた追加変更を経て現在に至っております。整備の進捗については、令和6年3月末時点で、152路線 総延長244kmが都市計画決定されており、進捗率は86%となっています。

一方、長期末着手となっている都市計画道路については、人口減少、少子高齢化等の社会情勢の変化に伴い、整備の必要性に変化が生じている路線もあると考えられます。そのため、本市の将来像を見据えた道路網の構築と、市民のみなさまが住み続けられる生活環境*の実現に向け、都市計画道路の見直しが必要です。

このような状況を踏まえ、令和4年度より都市計画道路の見直しに着手し、見直しの方向性を取りまとめた「鹿児島市都市計画道路見直しに関する基本方針」を策定しました。

*2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」において、「住み続けられるまちづくり」が掲げられています。当基本方針（素案）ではこの目標の達成に向け、都市計画道路の見直しに取り組みます。



持続可能な開発目標（SDGs）サイト：<https://www.un.org/sustainabledevelopment>
この出版物の内容は国連によって承認されておらず、国連またはその職員または加盟国の見解を反映するものではありません。